

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所 4号機炉内構造物検査における
ビニール片および金属片の回収結果について

平成 17 年 9 月 14 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所 4号機は定期検査中ですが、平成 17 年 8 月 24 日から、定期事業者検査の一つとして実施する炉内構造物検査^{*1}の準備作業を開始し、シュラウド外周部(アニュラス部^{*2})の確認を水中カメラにて実施していたところ、ビニール片 3 枚を当社社員が発見いたしました。

引き続きアニュラス部全周の確認を行った結果、新たにビニール片 7 枚と円弧状の金属 1 個を発見いたしました。

円弧状の金属は回収し、ビニール片 10 枚については、準備が整い次第回収するとともに、発見・回収した異物の調査を行うこととしておりました。

また、続いて実施する炉内構造物検査において発見・回収したものについては、当該検査終了後にまとめてお知らせすることとしておりました。

(8 月 24 日、25 日お知らせ済み)

その後、アニュラス部全周確認時に発見したビニール片 10 枚(最大約 1 cm×約 2 cm)を回収するとともに、引き続き実施した炉内構造物検査において、新たにビニール片 1 枚(約 0.2 cm×約 0.4 cm)をジェットポンプ上にて発見・回収いたしました。

当該ビニール片については、調査の結果、今回の定期検査において実施した原子炉圧力容器内の水抜き作業で、原子炉圧力容器上蓋を仮閉鎖した際、養生に使用したビニールテープがはがれ落ちたものと推定いたしました。

また、先に発見されていた円弧状の金属については、外観上腐食が進んでいること、原子炉内で同じような形状・材質の部品を使用していないこと、平成 11 年以降は異物混入対策として徹底した員数管理を実施していることなどから、平成 11 年以前に混入したものと推定いたしました。

今後も引き続き、異物混入防止対策を徹底いたします。

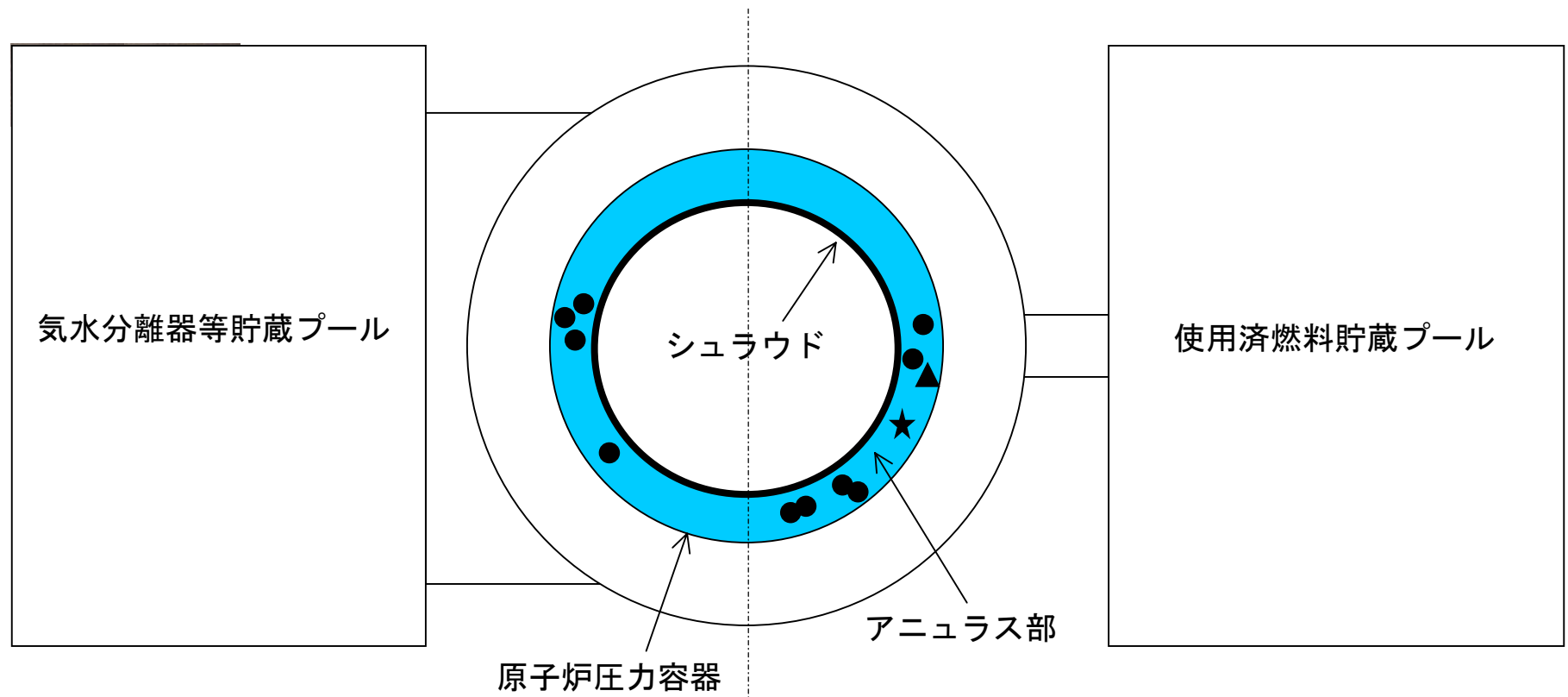
以 上

* 1 炉内構造物検査

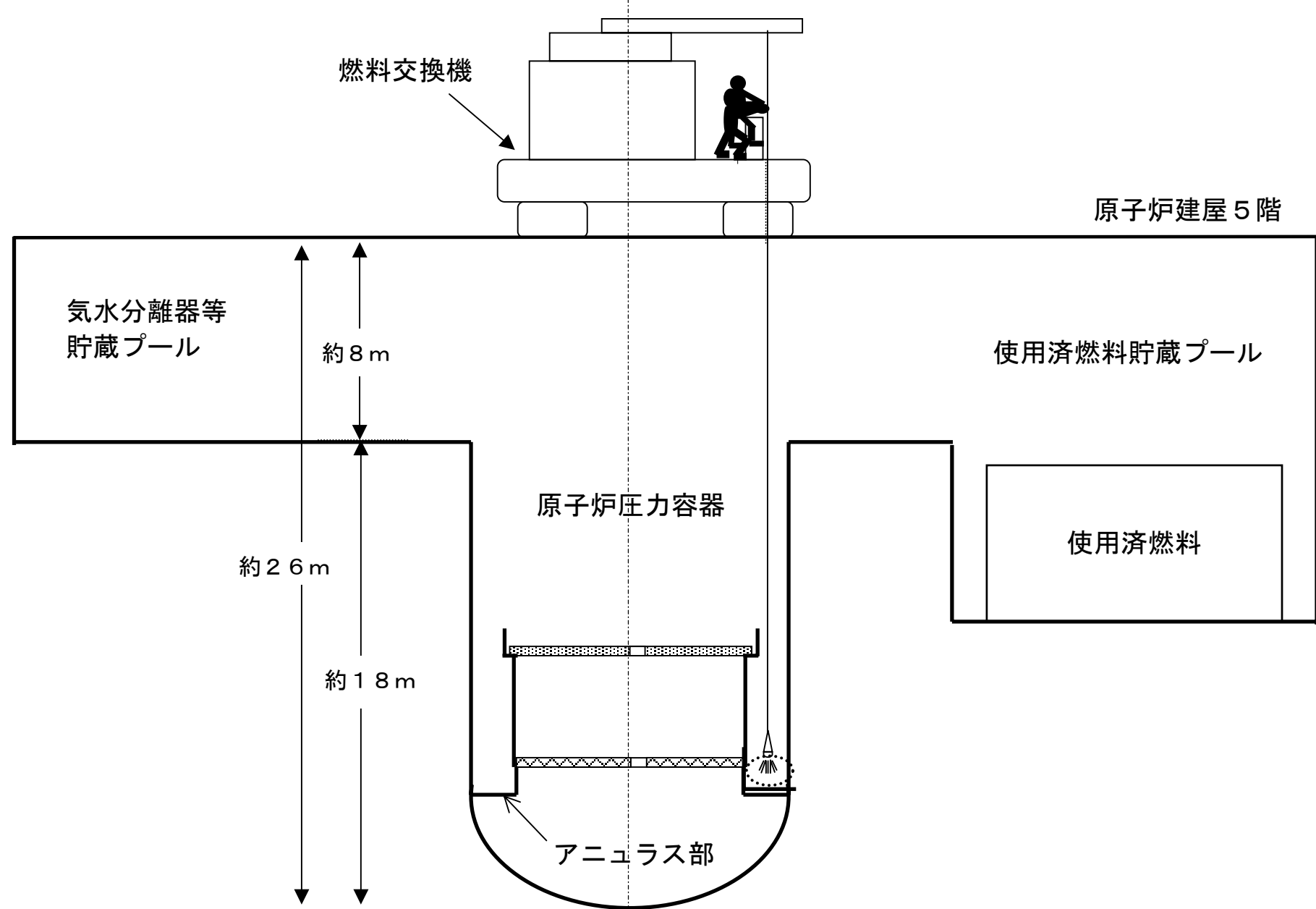
前回定期検査にて実施したシュラウド補修箇所およびジェットポンプなどの炉内構造物の目視点検を行う。

* 2 アニュラス部

原子炉圧力容器とシュラウドの間のジェットポンプ等が設置されている空間。



- : ビニール片発見箇所
- ★ : 金属発見箇所
- ▲ : ビニール片発見箇所 (今回)



4号機炉内構造物検査におけるビニール片および金属片回収概略図